

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【公開番号】特開2019-129902(P2019-129902A)
 【公開日】令和1年8月8日(2019.8.8)
 【年通号数】公開・登録公報2019-032
 【出願番号】特願2018-12755(P2018-12755)
 【国際特許分類】

A 6 1 L 9/22 (2006.01)
 B 0 9 B 3/00 (2006.01)
 H 0 1 T 19/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 9/22
 B 0 9 B 3/00 3 0 4 Z
 B 0 9 B 3/00 Z A B
 H 0 1 T 19/04

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月21日(2020.1.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

格納槽内に格納された有機物を分解処理するためのイオンを生成する有機物分解処理用イオン生成装置であって、

対向配置された針電極及び平板電極と、

正極性の直流電圧を前記針電極に印加する直流電源部と、

を備え、

前記直流電源部は、

前記直流電圧の電圧値を5～30kVに設定し、かつ、電界強度を0.25～1.5kV/mmとし、大気中で前記針電極及び前記平板電極の間に正極性コロナ放電を発生させる電圧制御部を有し、

前記正極性コロナ放電を発生させることで、オキシニウムイオンを生成する、有機物分解処理用イオン生成装置。

【請求項2】

前記針電極及び前記平板電極を支持する筒状の電極支持部材を備え、

前記電極支持部材は、筒状内壁部で囲われた中空空間で前記針電極及び前記平板電極を対向配置させて、前記中空空間内で前記正極性コロナ放電を発生させる、請求項1に記載の有機物分解処理用イオン生成装置。

【請求項3】

前記電極支持部材が内部に設置された筐体を備え、

前記筐体には、送風機から排出された気体を導入する導入口と、前記格納槽内に前記気体を排出する排出口と、が設けられており、

前記電極支持部材は、前記中空空間の中心軸上に前記排出口が位置するように配置され、

前記筐体は、前記導入口から導入された前記気体を、前記中空空間を通過させ直線的に

前記排出口に向けて送出する、請求項 2 に記載の有機物分解処理用イオン生成装置。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の有機物分解処理用イオン生成装置が、前記格納槽に設けられた、有機物分解処理装置。